

はり師きゅう師国家試験対策

# でるポとでる問

増補改訂第2版

【下巻】 東洋医学概論  
東洋医学臨床論  
経絡経穴概論  
はり理論  
きゅう理論

稲田久、三浦章、徳江謙太、近藤史生  
小笠原史明、尾藤何時夢 他・著



## はじめに

「勉強の仕方が分からない」

何度も何度も聞いてきた言葉です。そのまま時だけが過ぎてませんか？そういう方は、是非この本で問題を解きながら、予習と復習をして下さい。

本書は受験学年の生徒のみならず、1年生、2年生の皆様にとっても勉強の習慣をつけるのに良い書です。特にノートのまとめ方の参考になると思います。

1年生、2年生の皆様はこの書を熟読し、勉強したことのまとめ方を会得して、自分で学習する習慣が身につきますようお願いしています。

知識のないところからは何も生まれてきません。卒後に得られる情報の信憑性の判断も出来ません。

この書が、皆様が鍼灸師としてのスタートラインに立つ一助になることを願ってやみません。

2024年1月吉日

稲田 久



# CONTENTS [目次]

はり師きゅう師国家試験対策

でるポとでる問

[下巻] 東洋医学概論・東洋医学臨床論

経絡経穴概論・はり理論・きゅう理論

はじめに — 002

本書の活用法 — 003

## Part 1 東洋医学概論

- ① 東洋医学の基礎 — 008
- ② 気血津液の生理 — 012
- ③ 六臓六腑 — 016
- ④ 病因論 — 021
- ⑤ 東洋医学の病証 — 025
- ⑥ 経脈の病証 — 031
- ⑦ 東洋医学の診察法 — 035
- ⑧ 東洋医学の治療法 — 041

## Part 2 東洋医学臨床論

- ① 治療総論 — 048
- ② 治療各論  
(主要症候に対する鍼灸療法) — 052
- ③ 治療各論  
(スポーツ医学における鍼灸療法) — 123
- ④ 高齢者に対する鍼灸施術 — 131

## Part 3 経絡経穴概論

- ① 経脈の意義 — 134
- ② 経穴の意義と概要 — 139
- ③ 督脈 (Governor Vessel (GV))  
28 穴 — 145
- ④ 任脈 (Conception Vessel (CV))  
24 穴 — 148
- ⑤ 正経十二経脈 — 151
- ⑥ 経穴の応用 — 183
- ⑦ 経絡・経穴の現代的研究 — 189

## Part 4 はり理論

- ① 鍼の基礎知識——194
- ② 基本的な刺鍼方法——197
- ③ 特殊鍼法——200
- ④ 鍼の臨床応用——202
- ⑤ リスク管理——204
- ⑥ 鍼治効の基礎——208
- ⑦ 鍼療法の治効理論——213
- ⑧ 関連学説——216

コラム  
単位のあれこれ——214

## Part 5 きゅう理論

- ① 灸の基礎知識——220
- ② 灸の臨床応用——224
- ③ リスク管理——226
- ④ 灸治効の基礎、灸療法の治効理論——228
- ⑤ 関連学説——232



## 【執筆者一覧】(五十音順)

### 阿部 浩明

新潟柔整専門学校  
修士(医科学)、柔道整復師

### 井手 貴治

東亜大学 人間科学部 教授  
歯科医師

### 稲田 久

横浜医療専門学校  
鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師

### 大中 孝子

九州医療スポーツ専門学校  
鍼灸師

### 大平 民枝

大平鍼灸院  
鍼灸師

### 小笠原 史明

新潟柔整専門学校 学科長  
鍼灸師、柔道整復師

### 片岡 彩子

博士(薬学)、薬剤師

### 川上 智史

東海大学 医学部 客員准教授  
博士(医学)

### 木場 由衣登

大分医学技術専門学校 鍼灸学科  
鍼灸師、日本鍼灸史学会 理事

### 近藤 史生

紺堂はりきゅうつぼ治療院 院長  
修士(体育)、鍼灸師

### 杉若 晃紀

大分医学技術専門学校 鍼灸師科 学科長  
鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師

### 高本 考一

東亜大学 人間科学部 准教授  
博士(医学)、鍼灸師

### 田口 大輔

帝京大学 医療技術学部 講師

### 徳江 謙太

日本医学柔整鍼灸専門学校 鍼灸学科  
鍼灸師、柔道整復師

### 中村 幹佑

日本医学柔整鍼灸専門学校 鍼灸学科  
鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師

### 中村 協

静岡医療学園専門学校 鍼灸学科 学科長  
鍼灸師、柔道整復師

### 馬場 泰行

新潟柔整専門学校  
鍼灸師、柔道整復師

### 濱田 さとみ

国際東洋医療学院  
鍼灸師

### 早川 雅成

新潟柔整専門学校 副学科長  
鍼灸師、柔道整復師

### 林田 弥子

鍼灸こひろ治療院 院長  
鍼灸師

### 原田 菜央

静岡医療学園専門学校 鍼灸学科  
鍼灸師

### 尾藤 何時夢

東亜大学 人間科学部 教授  
修士(医科学)、柔道整復師

### 平山 慶一

大分医学技術専門学校 鍼灸学科  
鍼灸師

### 深谷 高治

新潟柔整専門学校  
修士(体育学)、柔道整復師

### 三浦 章

長崎大学病院 精神神経科 研究協力員  
鍼灸師

### 皆川 剛

皆川鍼灸マッサージ療院 院長  
国立福岡視力障害センター 非常勤講師  
鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師

### 山崎 由紀也

新潟柔整専門学校  
八王子鍼灸マッサージ治療院  
柔道整復師、鍼灸師

### 豊 久美

横浜医療専門学校  
鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師

### 米永 繁樹

グローバル治療室 院長  
鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師

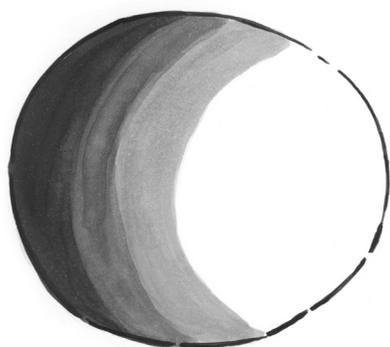
九州医療スポーツ専門学校 鍼灸学科長(鍼灸師)

イラスト 植木 美恵

鍼灸国試

# でるポとでる問

PART 1 東洋医学概論



# 1

## ▶ 東洋医学の基礎

- 東洋医学では、人と自然との関係を表す考え方を（天人合一思想）、または（天人相応）という。
- （心身一如）とは、心と体は一体であり、相互に作用することを意味する。
- 陰陽学説とは古代中国の哲学理論で、（陰）と（陽）という対立する概念によってあらゆる事象を分類し、その相互作用や盛衰・転化を考えるものである。
- 自然界における陰陽の組み合わせと分類

陽	明	温	熱	火	上	動	東	南	天	進	雄	剛	凸	白	奇数	浮	昇
陰	暗	冷	寒	水	下	静	西	北	地	退	雌	柔	凹	黒	偶数	沈	降

- 陰と陽は相反する属性で成り立つ。この対立した組み合わせは、どちらか一方だけでは成立しない。このような陰陽の相互依存を（互根）という。
- 陰と陽は（対立）するものであり、互いに（制約）し合う。このような制約によって平衡を取ることができる。
- 陰陽の量が増減することを（消長）という。
- 陽から陰、陽から陰への変化は（転化）という。
- あらゆる事象は陰陽に分類できる。これを（可分）という。
- 人体も陰陽の法則に基づき分類される。臍より上を（陽）とし、臍より下を（陰）とする、また、上下以外では（内部）が陰で（外部）が陽となる。

陽 →  ← 陰	心	（陽中の陽）
	肺	（陽中の陰）
	肝	（陰中の陽）
	腎	（陰中の陰）
	脾	（陰中の至陰）

五臓の陰陽分類（可分）

- 体内を陰陽で分けると、口から肛門まで体外とつながる腑（六腑）が陽であり、臓（五臓）が陰である。五臓の中でも胸部にある（心肺）は陽であり、腹部にある（肝腎）は陰である。
- 人体における陰陽の組み合わせと分類

陽	男	背	外	表	腑	気	生	熱	魂	六腑	衛	幼
陰	女	腹	内	裏	臓	血	死	寒	魄	五臓	營	老

## 五行学説

- 五行学説とは、あらゆる現象を（木・火・土・金・水）の5つの性質に分類し、その関係性を考える理論である。

自然界における五行配当					
五行	木	火	土	金	水
五時（五季）	春	夏	長夏	秋	冬
五能	生	長	化	収	蔵
五気（五悪）	風	熱（暑）	湿	燥	寒
五音	角	徵	宮	商	羽
五臭	臊（膻）	焦	香	腥	腐
人体における五行配当					
五臓	肝	心	脾	肺	腎
五腑	胆	小腸	胃	大腸	膀胱
五華	爪	面・色	唇	毛	髪
五官（五根）	目	舌	口	鼻	耳
五液	涙	汗	涎	涕	唾
五味	酸	苦	甘	辛	鹹
五体	筋	血脈	肌肉	皮	骨
五神	魂	神	意	魄	志
五脈	弦	鈎	代	毛	石
五志（五情）	怒	喜	思	憂	恐
五声	呼	笑	歌	哭	呻
五病	語	噫	吞	咳	欠
五勞	久行	久視	久坐	久臥	久立

## 五行の関係

- 循環的な産生関係を（相生）という。
- 相互に制約し合うことを（相克）という。
- 相克が過剰になっている異常な状態を（相乗）という。
- 本来は克す側が克される異常な状態を（相侮）という。



図1-1

# 1

## ▶ 東洋医学の基礎 Q&A

### Question

- 1 東洋医学では心と体を分けて考える。
- 2 東洋医学では人と自然を一体としてとらえる。
- 3 陰陽に分類できない事象も存在する。
- 4 陰陽論では明・温・上などは陰に属する。
- 5 陰陽論では奇数は陽に属する。
- 6 陰陽は対立し、独立した存在である。
- 7 陰陽の量が増減することを転化という。
- 8 一日の気温の変化は陰陽の消長で表される。
- 9 陰陽の相互依存を可分という。
- 10 夏至や冬至のタイミングを消長という。
- 11 季節の変化は消長で表される。
- 12 陰陽が互いに制約しあうことで平衡を保っている。
- 13 火と水の関係は転化で表される。
- 14 五臓は陰であるため、さらに可分することはできない。
- 15 六腑は体の内部なので陰に属する。
- 16 陰陽論では人体の表層や背部は陽に属す。
- 17 五臓の中で陰中の陽は腎である。
- 18 五行学説は陰陽論を基にした理論である。
- 19 五行学説はあらゆる事象を5つの性質に分けてその盛衰や転化を考えるものである。

### Answer

- 1  × : 一体として考える。心身一如
- 2  ○
- 3  × : あらゆる事象は陰陽に分類できる。
- 4  × : 陽に属する。
- 5  ○
- 6  × : 互根
- 7  × : 転化 → 消長
- 8  ○
- 9  × : 可分 → 互根
- 10  × : 消長 → 転化
- 11  ○
- 12  ○
- 13  × : 転化 → 対立
- 14  × : 全ての事象は可分することができる。
- 15  × : 六腑は外部に属するため陽である。
- 16  ○
- 17  × : 腎は陰中の陰である。
- 18  × : 陰陽論と五行論は別の理論。
- 19  × : 関係性を考える理論である。

- 20 生、長、化、収、蔵を五能という。  ○
- 21 五音の角と五臓の肝は木に属する。  ○
- 22 五気の湿と五華の毛は土に属する。  × : 毛は金に属する。
- 23 腎と同じ五行属性には目や筋がある。  × : 目や筋は肝と同じ木に属する。
- 24 筋、血脈、肌肉などは五華と呼ばれる。  × : 五華 → 五体
- 25 声の種類も五行分類が存在する。  ○
- 26 久立は水に属することから腎と関わりが深い。  ○
- 27 苦、意、憂は全て水に属する。  × : 苦は火、意は土、憂は金に属する。
- 28 呑、咳、欠は五声の分類である。  × : 五声 → 五病
- 29 五脈の弦は肝と関わりが深く、春に表れやすい。  ○
- 30 五行の関係で循環的な産生関係を相克という。  × : 相克 → 相生
- 31 五行の関係で相互に制約しあうことを相生という。  × : 相生 → 相克
- 32 相乗とは相生が過剰になっている状態である。  × : 相克が過剰な状態
- 33 相克の関係が逆になっている状態を相侮という。  ○
- 34 木と土は相生関係にある。  × : 相生関係 → 相克関係
- 35 土と金は相生関係にある。  ○
- 36 水と木は相生関係にある。  ○
- 37 相生関係は水、火、土、金、木の順に循環する。  × : 木、火、土、金、水
- 38 木と土は相乗関係になりうる。  ○
- 39 木と土は相侮関係になりうる。  ○
- 40 火が金を克す関係を相侮という。  × : 相侮 → 相克または相乗
- 41 水が土を克す関係を相侮という。  ○
- 42 相乗や相侮は異常な状態である。  ○

## 2

### ▶ 気血津液の生理

- 人体を構成する生体物質は、(精)・(気)・(血)・(津液)に分類される。
- 人体において、気は(陽)に属し、血・津液・精は(陰)に属する。

#### 五神

- (魂)は(肝)と密接な関係にあり、(気機の調節)を行う。
- (神)は身体活動および(精神活動を統率・制御)する機能のことであり、(心)と密接に関わる。
- (意)は思考・推測・注意力・記憶などの精神活動のことであり、(脾)と密接に関わる。
- (魄)は(感覚)(運動)や情志などの精神活動のことであり、(肺)の機能と密接に関わる。
- (志)は記憶の維持などの精神活動に関与し、(腎)と密接に関わる。

#### 五志・七情

- 五志には、(怒)(喜)(思)(憂)(恐)の5つの情動・情緒がある。
- 七情とは、(怒)(喜)(思)(憂)(恐)(悲)(驚)の7つの情動・情緒のことである。

#### 生体物質(精・気・血・津液)

##### A. 精(先天の精・後天の精)

- (先天の精)は先天的に父母から受け継いだ物質で、(腎)に貯えられ、人体の(成長)(発育)の源となる。
- (後天の精)は脾胃の働きによって飲食物(水穀)から後天的に得られ、絶えず(腎精)を補充している。

##### B. 気

- 気とは、人体を構成し、生命活動を維持する(精微物質)を表すとともに、(機能)を表す言葉でもある。
- 気は絶え間なく運動しており、(昇)(降)(出)(入)という方向性がある。この気の運動を(気機)と称する。
- 腎に貯えられている精は、絶えず(原気)を化生する。
- 飲食物は、脾胃の機能により消化・吸収され水穀の精微となり、(気)が化生される。